

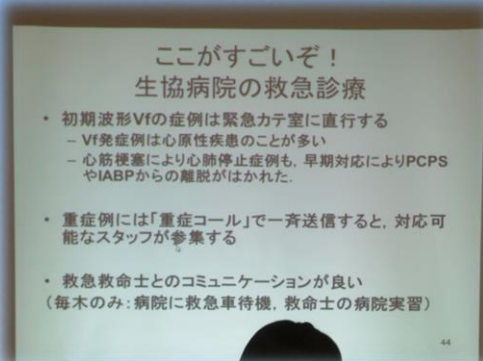
2015年5月29日 発行：島根民医連 医系学生サポートセンター
〒693-0024 出雲市塩冶神前1-6-2

Tel:0853-21-3360 Email:bunsitu@bronze.ocn.ne.jp

5月 おちらとしょ会

鈴木Dr.による

救急医療セミナー



島根民医連の奨学生会議を、5月28日(木)に行いました。参加学生は1年生4名、2年生4名、クリクラできている6年生2名の、合計9名でした。今回の学習テーマは、“救急医療”で松江生協病院の鈴木先生から「地域の救急医療～現状と課題～」と題してレクチャーをしていただきました。

最初に、鈴木先生ご自身の専門研修の様子を交えながら、専門的な知識を持ちながらも、総合的に診療できる力を持つことの大切さをお話しいただきました。救急医療については、松江生協病院が行っている救急診療と、松江圏域の救急の現状は主に3病院で救急の受け入れを行っており、受診者は高齢者が多くなっている、そんな中だからこそ、総合性を兼ねた質の高い専門医の存在が必要不可欠になってくるといった内容でレクチャーしてもらいました。

研修医の先生方にも参加していただいたので、レクチャーの後には、それぞれ自己紹介をして交流しました。鈴木先生のお話を踏まえて研修医の先生方からも学生にメッセージをおくっていただきました。

今回の学習会は、6月に行われる「中四つどい」(学習テーマは「地域を守る救急医療」)に向けた事前学習を兼ねて行いました。島根からは現在3名の学生が参加予定です。今回学んだ内容を、つどい場でさらに深めてきてほしいと思います。

☺学生の感想☺

- 島根では専門科だけでなく総合的に診ることのできる医者が特に必要とされていることを改めて知ったし、総合力を持つ医師が増えれば医師不足や偏在もカバーできると思った
- 患者さんの受け入れの現状や医療現場の日常など普段の授業では聞けないお話を聞くことができてよかった
- 生協病院では、医師と救急救命士が連携されていることに衝撃を受けた今回のお話を聞いた事で自分の地元の救急についても知りたくなった

